

問

するだけではなく、居場所づ

子ども食堂は、食事を提供

ショートステイ等の事業を行う。 ため、地域子ども支援事業や、

子どもやその家庭を支援する

和介や、安定的な運営に関 引き続き、優れた取り組

時的に保護者が子どもの

🔎 総括質疑とは

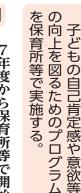
予算等審査特別委員会の全体会議に おいて、会派ごとの持ち時間制で行う 質疑のことです。

今定例会では、34人の議員 が行いました。



問

ログラムの事業概要を聞きたい。 する、とうきょうすくわくプ 7年度から保育所等で開始



活動を保育所等で実践



子どもの興味・関心に応じた探究

きょうすくわく プログラムの取り組みは とう

この事業で期待される効果は。 児教育・保育の質の向上にもつ スキルが高まり、保育所等の幼 り入れることで、保育者自身の ながると考えている。 る。また、新しい教育方法を取 非認知能力を伸ばすことができ たちの自己肯定感や意欲などの 動を実践することで、子ども ための重要な時期と考えるが、 興味・関心に応じた探究活 乳幼児期は、成長と発達の

する研修を実施していく。 みの紹介や、安定的な運営に

て家庭への支援の充実を

担軽減など、さらなる利便性 きるよう今後も取り組んでいく。 ほか、24時間登録が可能になっ 向上に取り組めないか。 どの申請について、手続きの負 宿泊で預かるショートステイな た。より速やかに支援を提供で 面倒を見ることができない時、 利用登録の電子申請を導入 手続きの負担を軽減した

るためには、自主財源の確保な ど自立した運営が重要と考えて

かし、安定した活動を継続す 各運営団体の特色を十分い の構築が必要ではないか。 い自立した運営ができる仕組み っているため、各地域で支え合 くりなど地域で重要な役割を担

> るものである。 で、幼児教育・保育の充実を図 応じた探究活動を実践すること かし、子どもの興味・関心に 保育所等が環境や強みを

発達相談・発達支援の今後は

問

や福祉等、 の今後の方向性について聞きたい。 を行う発達障害児支援室「からふる 援等の体制について検討していく。 とともに、健診の実施や健診後の支 を目的としている。7年度は、 の家庭を必要な支援につなげること とその家族に、相談や療育支援等 を早期に把握し、子育て相談のニ ズ等を踏まえながら、子どもとそ 5歳児健診は、個々の発達特性 発達に偏りや遅れのある子ども 専門的知見を持つ関係者

市の発達支援の体制強化と感じるが、 会を7年度に設置することは、 5歳児健診の実施に向けた準備

準備会で検討する内容は。



発達障害等を早期に発見し、 必要な支援 につなげる5歳児健診の実施に向けて

発達障害の早期発見・支援等の ため、5歳児健診の準備会設置や、 発達障害児支援室の運営を行う。

未就学児の利用が増えており、

「からふる」の療育支援では、

と考えている。

け、今後さらに支援を充実させたい 成長に合わせたきめ細かい療育に向 増加と分析している。一人ひとりの 達が気になる初期段階でのニーズの